

‘愛媛果試第28号’（紅まどonna）の 安定生産技術開発と普及



愛媛県農林水産研究所 果樹研究センター
みかん研究所 藤原文孝

業績概要

背景

- 愛媛で主力の温州みかん・伊予柑の価格低迷
- 消費の多様化が進展し、新品種への転換期
- 生産現場から果樹試に求められるもの
 - ① 新たな愛媛ブランド品種の開発 →
 - ② 高品質果実生産に向けた対策技術の確立

課題

愛媛果試第28号導入時の生産上の課題

- 果皮障害発生による正品率の低下
- 出荷基準に満たない低品質園対策
- 未確立な生産方針(露地or施設)

➡ 栽培面積伸び悩み

品種名: 愛媛果試第28号

交配親: ♀南香 × ♂天草

登録年: 2005年3月

商標名: 紅まどんな (全農)



- じょうのう薄く、肉質柔軟多汁
- 成熟期12月、豊産性
- 糖度12、クエン酸1%程度

(1) 果皮障害の発生と対策

果皮の老化(果皮先熟タイプ)

- 雨水で長時間濡れる
- 吸水し微細な亀裂発生
- 亀裂から果皮水分蒸発
- 果皮が軟化・酸化し変色

クラッキング



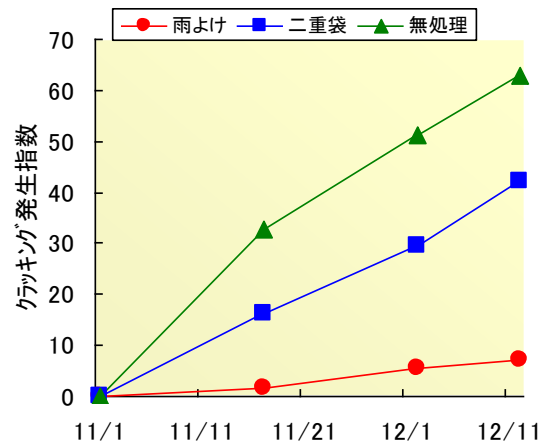
黒変



夜蛾吸汁



対策



試験区	1級	2級	格外
雨よけ	79 a	11 b	10 b
二重袋	53 a	17 b	30 a
無処理	23 b	33 a	44 a

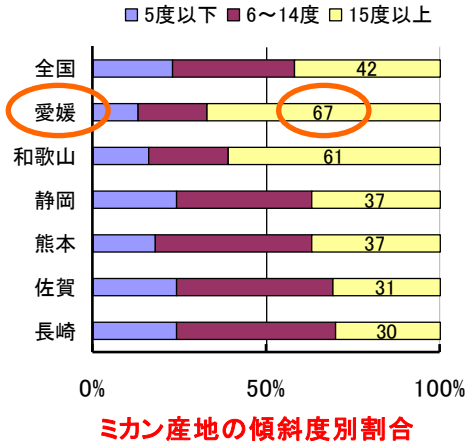
雨よけ栽培

(10月上旬～
天ビニール被覆)

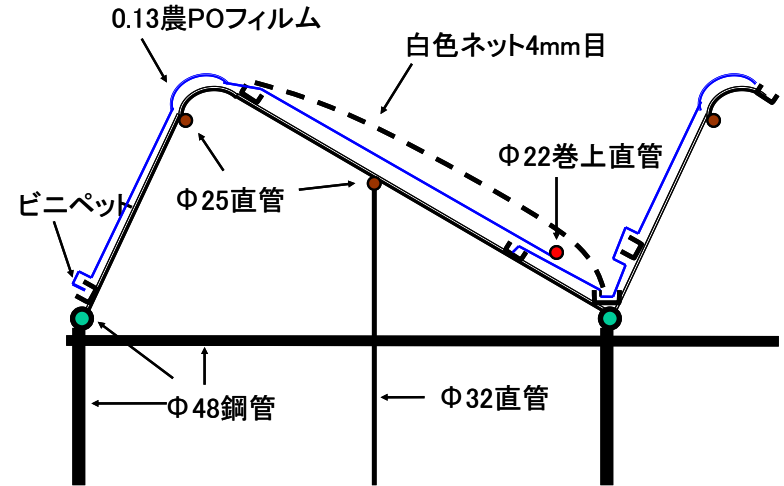
- ① クラッキング軽微
- ② 夜蛾の被害回避
- ③ 正品率高い

収益性向上

(2)-1 片屋根式雨よけハウスの開発



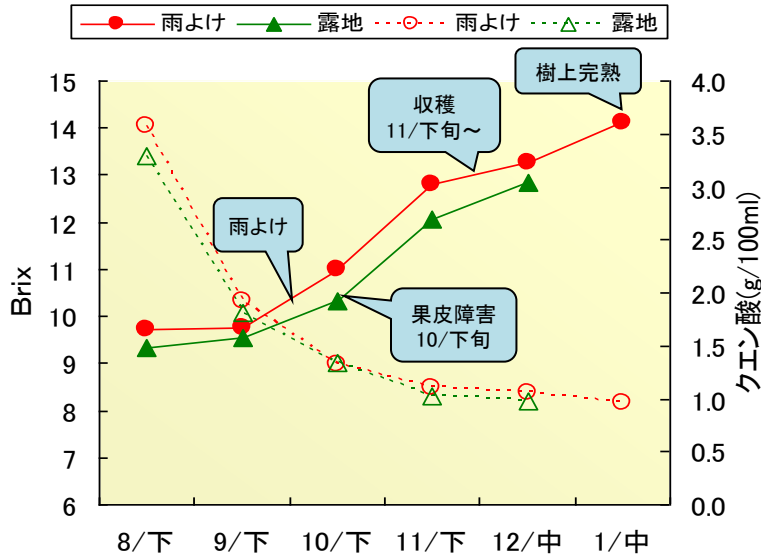
- 屋根は傾斜 (縦) 方向
- フィルム被覆 作業危険



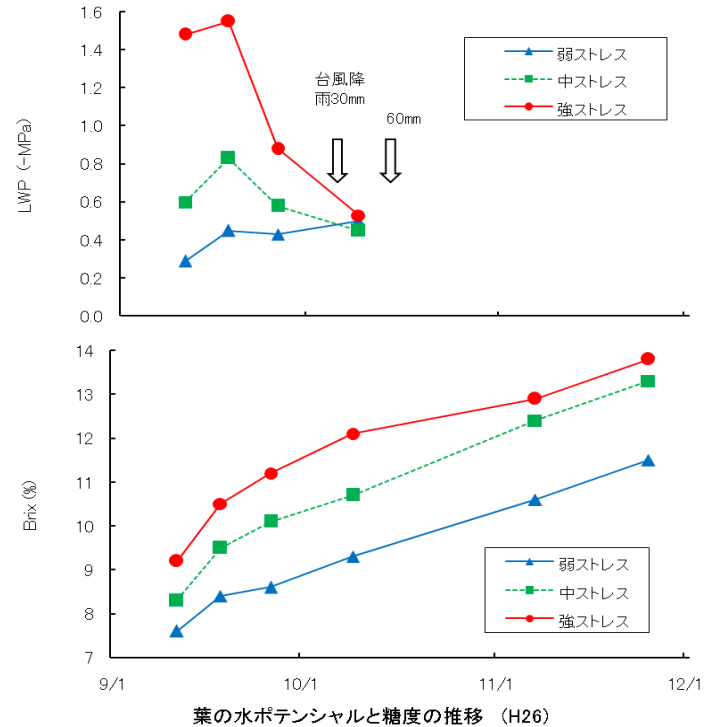
- 急傾斜地に設置できる
- 屋根は等高線方向 被覆作業安全
- 谷部の排水可能

(2)-2 高品質生産技術の開発

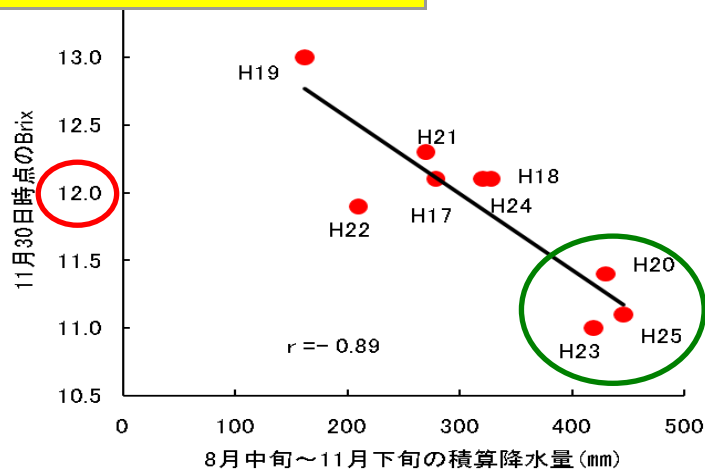
雨よけ栽培



水ストレスと果実品質



降雨と果実品質



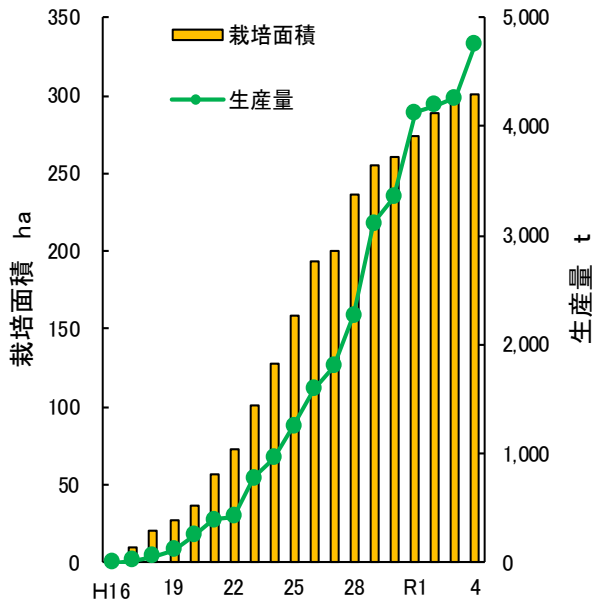
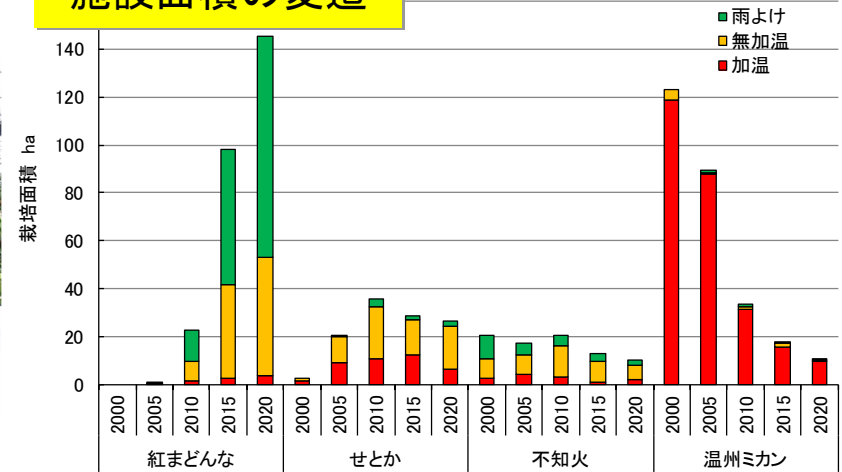
- 雨よけ栽培は高品質果の割合高い
- 8月中旬以降の降雨とBrixに負の相関
- 9月乾燥(LWPで $-0.6 \sim -0.8$ MPa)で増糖
- マルドリ栽培との併用

(3) 栽培技術の普及

技術マニュアル公開



施設面積の変遷



R4年産
 栽培面積
 300 ha
 生産量
 4,760 t
 農業算出額
 30億円

- 栽培技術研修会等を通じ情報提供
- 果樹振興計画で戦略品種に位置付け
- 温室みかん・伊予柑からの更新

年内贈答用商材

- 柑橘農家所得向上
- 愛媛を代表する柑橘として定着

